

産業空調・冷熱特集

# 工場設備のIoT化提案

## 簡易情報連絡端末を活用

NKE

工場自動化（FA）機器や電子ネットワーク機器メーカーのNKE（社長＝中村道一氏、本社・京都府長岡京市馬場図所27）は、既存設備に後付けできる簡易情報連絡端末「れんら君」シリーズ



田茂井 幸輝執行役

の提案営業に注力している。「れんら君」を各種センサーと接続することで、ビルや工場内の設備稼働状況や環境変化を可視化したり、異常が発生した場合に設備管理者に自動通知したりできる。インターネットへの接続環境が整った現場であれば、既存のLANに接続するだけで設備の監視や簡易な制御も可能になる。同社はFAで培った

技術を生かし、産業分野の展開では広範な製造業に対して「れんら君」シリーズの活用を提案。工場設備の「IoT化」を訴求していく。「れんら君」は目的に応じてセンサーと接続して設備や環境の小さな変化を検知し、モニター画面にグラフ表示したり、状況をメールで自動通知したりする。無線LAN規格「WiFi」の環

境が整っていれば、スマートフォンからでも「れんら君」の設定が可能。活用事例としては、温度センサーや湿度センサーを使用した冷凍空調機器の温湿度監視のほか、電流センサーを使用して工場内の漏電や電力監視に使える。pHセンサーを用いた水質監視、静電気をセンサーを用いた異物付着・静電気破損対策、圧力センサーを用いた圧力監視による設備の経年劣化予測など、多用途で使える。

ラインアップはデジタル入力値（入力2点）に対応する汎用型、アナログ入力値（同）に対応するアナログ型、制御に役立つ信号出力機能付き、8点入力と8点出力を搭載した多点型、汎用型の無線式、データロギング機能を備えたカウンタ型に加え、今年からアナログ型で信号出力機能を付加した新機種も発売した。

田茂井幸輝執行役は「アナログ型の信号出力機能付きをラインアップしたことで、センサーで検知後に何らかの動作を設備側に指示することもできるようになった」と話した。